

26日 月曜

創世記

28:1 イサクはヤコブを呼び寄せ、彼を祝福し、そして彼に命じた。「カナンの娘たちの中から妻を迎えてはならない。

28:2 さあ立って、パダン・アラムの、おまえの母の父ペトエルの家に行き、そこで母の兄ラバパンの娘たちの中から妻を迎えてなさい。

28:3 全能の神がおまえを祝福し、多くの子を与える、おまえを増やしてくださるように。そして、おまえが多くの民の群れとなるように。

28:4 神はアブラハムの祝福をおまえに、すなわち、おまえと、おまえとともにいるおまえの子孫に与え、神がアブラハムに下さった地、おまえが今寄留しているこの地を継がせてくださるように。」

28:5 こうしてイサクはヤコブを送り出した。彼はパダン・アラムの、ラバパンのところに行つた。ヤコブとエサウの母リベカの兄、アラム人ペトエルの子ラバパンのところである。

28:6 エサウは、イサクがヤコブを祝福したこと、またパダン・アラムから妻を迎えるために彼を送り出したことを知った。イサクが、ヤコブを祝福して送り出したときに、カナンの娘たちから妻を迎えてはならないと命じ、

28:7 ヤコブが、父と母の言うことに聞き従つて、パダン・アラムへ行つたことも。

28:8 さらにエサウは、カナンの娘たちを、父イサクが気に入っていないことを知った。

28:9 それでエサウはイシュマエルのところに行き、今いる妻たちのほかに、アブラハムの子イシュマエルの娘で、ネバヨテの妹マハラテを妻として迎えた。

イサクはヤコブが長子の権利を継ぐ者として祝福し、アドバイスとビジョンを与え、委ねます。だま



聖書の記述

し、だまされた結果であるのに、それが有効になってしまうのです。そして実際にヤコブの子孫からイスラエルが生まれ、救い主であるイエス様も生まれるのであります。なぜこのような人々の中で起きたことが神様の導きとなるのでしょうか。

第一に神様は、罪でさえも、それを逆手にとてご自身の勝利とご計画へつなげることのできるお方です。そもそも人間は不完全で罪深い言動の多いものです。神様がその人間に介入なさるなら、当然そのようになるということでしょう。

第二に、神の計画が人間の知恵や功績によらずに、ただ神の眞実によって成されることを表すためであります。神の計画にあずかっているからといって、その人に非がないとは言い切れないのです。

ヤコブは祝福のビジョンに導かれて信仰の道へと進みましたが、エサウは信仰で将来を見ることができずに、また父との関係もおかしくなり、信仰を考慮しない行動に出ました。神様がヤコブを選んだ理由がここにあるのかもしれません。信仰で将来を見て、決断してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

